

復興道路から考える「住み続けられるまちづくり」

リサーチの背景

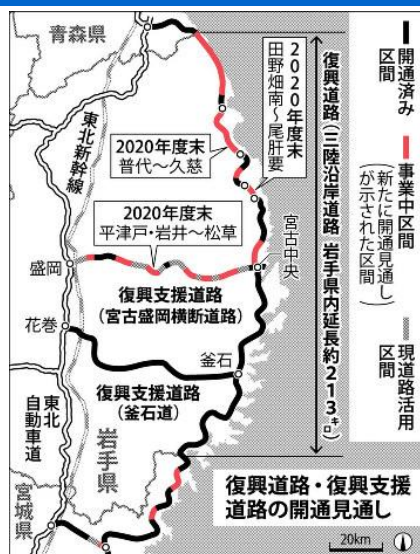
帰省の度に「復興道路」建設の光景をよく目にしています。東日本大震災からもうすぐ9年。県民の復興に対する意識調査でも2019年について「進んでいると感じる」の割合が「遅れていると感じる」を上回りました(*1)。整備が進む「復興道路」の現状とその効果を考察します。

(*1)岩手県復興局 いわて復興レポート2019「県民の復興に対する意識調査」

作成者: Y.Y

レポートに関する
お問い合わせ:
03-5542-5300
info@sinter.com

復興道路・復興支援道路の開通見通し



出典: 毎日新聞 2019年8月12日

「復興道路」とは？

三陸沿岸地域の縦軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横軸の高規格幹線道路等の総称です。東日本大震災を受け、岩手県はこれらの路線を「復興道路」と位置づけし、国等に対して整備要望を働きかけてきました。これにより、震災発生時点で整備中であった約93kmの区間に加え、未着工の約187kmの区間が新たに国によって事業化されました。2019年8月時点で、総延長550kmの7割にあたる397kmが完成しており、残りの153kmが2020年末までに段階的開通の見込みです。

整備により期待される効果

高規格幹線道路を整備することによって、大きく4つの効果が期待されています。

1. 都市間所要時間の短縮
2. 物流の効率向上、産業/経済活動の活性化
3. 救急医療施設への搬送時間の短縮
4. 災害に強い道路の確保

最も期待される「災害に強い道路」の例が三陸海岸道路です。被災直後、釜石市鶴住居地区と両石地区における唯一の幹線道路である国道45号線は、浸水などにより通行不能となり、多数の住民が行き場を失いましたが、発災の約1週間前に開通していた「三陸沿岸道路(釜石山田道路)」を利用し避難出来ました。山沿いへのルート選定や沿岸部を橋梁にすることで、津波浸水地域を回避することができ、災害でも安全で安心な通行が可能となります。高規格道路としての整備は、迂回路・避難路としての役割や、救助・救援活動、復旧・復興への支援道路として復興を力強く後押ししていくことが期待されます。

災害に強い高規格道路



出典: 岩手県土木整備部道路建設課 「岩手県復興道路2019」

災害に強い道路が地域住民の「命の道」となる

岩手県が「復興道路」の整備要請活動を行い、国が事業化してくれたおかげで、かつてないスピードで整備が進められていたことが分かりました。この整備によって震災前より利便性が向上するだけでなく、地域住民の安心安全を確保できるようになります。自然災害が頻発・激甚化している近年、SDGs目標11「住み続けられるまちづくり」を実現する為にも「災害に強いインフラ整備」は喫緊の課題です。この震災がきっかけとなり整備が進む「復興道路」が、インフラ整備における一つの指針となればと思います。

11 住み続けられるまちづくりを

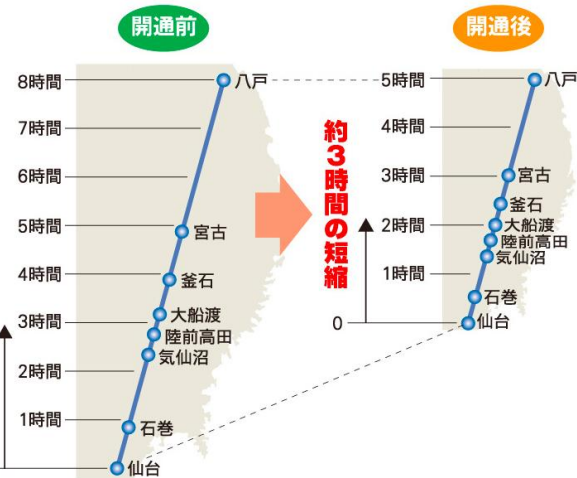


三陸沿岸道路 宮古田老道路(閉伊川付近) 工事状況



出典:国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所「宮古田老道路 工事の状況」

三陸沿岸道路整備による所要時間の変化

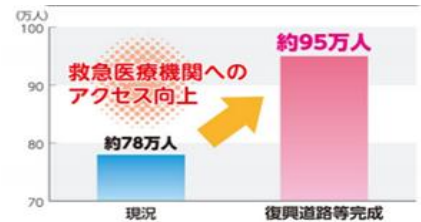


出典:国土交通省東北地方整備局「三陸沿岸道路の整備効果」

救急医療施設へのアクセス



救急医療体制の整っている救命救急センターは盛岡、大船渡、久慈の3ヶ所
復興の整備により各救命救急センターに60分以内に到達できる人口が現状78万人(60.5%)⇒将来95万人(73.5%)まで増加



出典:岩手県県土整備部道路建設課「岩手県復興道路2019」

復興道路の整備により期待される経済効果

対象線路	三陸沿岸道路 (宮城県仙台港北IC~青森県八戸JCT) 宮古盛岡横断道路 (宮古~盛岡) 東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石JCT~花巻JCT) ※震災 (2011年) 以降に完成する事業区間を対象
岩手県への経済効果	540億円/年 (県内総生産の増加)
全国への経済効果	1,090億円/年 (国内総生産の増加)
試算方法	空間応用一般均衡モデルを使用し、復興道路等の整備が企業の生産活動や家計の消費活動などに与える効果を分析、試算

出典:一般社団法人岩手経済研究所「復興道路の整備に伴う経済波及効果について」

参照・引用資料

- 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 (http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/03_topics/fukkou/miyakotarou.html)
- 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 (<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/seibikouka/sanriku/index.html>)
- 岩手県土整備部道路建設課「岩手県復興道路2019 いわたの未来を拓く復興道路」
- 一般社団法人岩手経済研究所「復興道路の整備に伴う経済波及効果について」

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。